

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	水野英莉
職 位	研究員
研究概要	
<p>2012 年度は、「産ませる技術」としての新しい生殖技術をめぐるジェンダー、フェミニズムの議論を批判的に検討し、特に家族と生殖に関して、近年の親密圏の変容について新たな視角を開くことを目的として研究を行ってきた。下に記したように、学会、研究会への参加と情報交換によって、また聞き取り調査をおこなうことによって、見識を深めた。</p> <p>次世代研究出版プロジェクトが採択され、「身体化」される親密圏・公共圏—医療、感情労働、セクシュアリティ—と題し、11 名のメンバーの代表として共同研究を行った。このプロジェクトより、ワーキングペーパーの出版に至った。ワーキングペーパーでは、後期近代において見られるようになった親密圏・公共圏の変容を、主に「再本質化」のキーワードによって捉え変えることによって、今後の新たな市民社会のあり方について展望した。ジェンダー、労働、医療、移民など、多様な研究分野の研究者が協同して研究を進めたことで、学際的で実りの多い議論となり、成果に反映することができた。</p>	
<p>学会・研究会参加、聞き取り調査</p> <p>11/2-4 札幌 札幌学院大学 日本社会学会に参加、アジアにおける国際結婚に関する意見交換</p> <p>12/14-16 東京 東京大学 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会に参加、 『身体化』される親密圏・公共圏に関する意見交換</p> <p>12/27-28 岡崎市 高根山公民館 ニンヨウヨガ教室主催者に不妊治療と補完代替医療について聞き取り調</p> <p>12/28-30 名古屋市 公益財団法人 東海ジェンダー研究所 身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会に参加</p>	
業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	
<p>著書</p> <p>「不妊治療における民間医療の検討—漢方・鍼灸・ヨガの施術者と利用者の語りから—」（第 2 章 142-172 頁を単著）杉浦ミドリ・建石真公子・吉田あけみ・來田享子編『身体・生・生命—個人の尊重とジェンダー—』尚学社 2012</p>	